令和6年度（第17回）「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」

別紙4

アセットマネジメント部門

応募事例名

“あの時の恩返し”の気持ちを繋ぐ「かたりべ研修」

応募団体名）熊本市

応募事例の概要

○ 本市では、熊本地震の教訓を後世へ伝えていくことで、誰もが安心して暮らすことができる真に災害に強いまちの実現を目指して、令和4年10月に**「熊本市防災基本条例」**を制定しました。

○ 上下水道局の取組として、熊本地震での全国の自治体から受けた支援を「かたりべ研修」により語り継ぎ、能登半島地震への支援活動（“あの時の恩返し”の気持ち）に繋がりました。

○ 今後も、災害・支援活動の教訓 や **「かたりべ」**の想い“あの時の恩返し”**の気持ち**を繋いでいきます。

応募事例の内容

平成28年 ★ 熊本地震

災害対応・受援

被災地支援

経験・記憶 語り継ぐ

第一回「かたりべ研修」研修状況

第一回 かたりべ研修

令和2年 ★ 令和2年7月豪雨

経験・記憶 語り継ぐ

第二回「かたりべ研修」研修状況

第二回 かたりべ研修

4年 5年 6年 経験・記憶の風化

被災地支援

能登半島地震 ★

経験・記憶 語り継ぐ

第三回 かたりべ研修（予定）

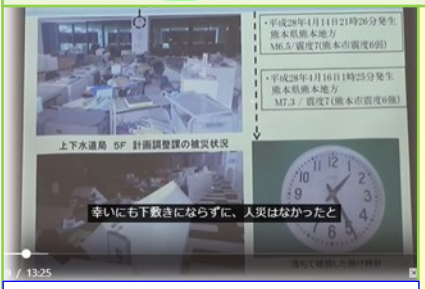
今後発生するであろう災害 ★

「かたりべ」の想いを繋ぐ

能登半島地震への支援

令和６年１月に発生した能登半島地震では、「かたりべ研修」受講者の**約３割（34人）**が支援活動に従事し、**「かたりべ」**の想い“あの時の恩返し”の気持ちを繋ぎました。

ＰＲポイント　「かたりべ」の想いを遺す



研修ポータルサイトの活用

「かたりべ」の発表をいつでも、自席で視聴可能となるよう、動画を**研修ポータルサイト**にUP！

「かたりべ」が異動や退職により少なくなる中、動画として**「かたりべ」**の想いを遺していきます。

熊本市上下水道局　技術研修班
班長　福田　耕二

熊本地震を経験し、多くの課題が浮き彫りになったことから、災害対応力の強化・技術の継承を目的として、平成30年度に局内に**『技術研修班』**が創設されました。

「かたりべ研修」の取り組みにより、職員の災害に対する意識の向上が図られ、災害対応力の向上・積極的な被災地への支援活動に繋がっています。

私も**『技術研修班』**の取り組みを先輩職員から引き継ぎ、“後世に繋ぐ”役割を担っているという強い気持ちを持って、今後発生するであろう災害に備え、「かたりべ研修」を通じて、熊本地震の教訓や**「かたりべ」**の想い“あの時の恩返し”の気持ちを繋いでいきます。